

|       |            |      |     |
|-------|------------|------|-----|
| 登録番号  | 第 00091 号  |      |     |
| 登録年月日 | 平成23年9月27日 | 登録区分 | 第二種 |

|              |  |  |  |
|--------------|--|--|--|
| 名称<br>(型式等)  | 1, 100℃級予混合低NO <sub>x</sub> 燃焼器  |  |  |
| 所在地          | 新潟県北蒲原郡聖籠町   |  |  |
|              | 東北電力株式会社 東新潟火力発電所 東北電力コンバインドサイクル技術館  |  |  |
| 所有者<br>(管理者) | 東北電力株式会社 東新潟火力発電所 東北電力コンバインドサイクル技術館  |  |  |
| 製作者(社)       | 三菱重工業株式会社  |  |  |
| 製作年          | 1984年  |  |  |
| 選定理由         | <p>三菱重工業が世界に先駆けて実用化に成功した予混合燃焼方式の低NO<sub>x</sub>燃焼器である。当時、ガスタービンの燃焼器は、拡散燃焼方式の燃焼器が主流で、NO<sub>x</sub>低減のために水噴射や蒸気噴射が用いられていた。この燃焼器は世界で初めて、予混合燃焼方式を採用することで、水や蒸気に頼らずに画期的な低NO<sub>x</sub>化を実現した。また、燃焼器バイパス機構を設け、ガスタービンの運用範囲内で安定した燃焼を維持していることも特徴である。</p> <p>1984年に営業を開始した東北電力東新潟火力発電所第三号系列の主機であるMW-701D型ガスタービンに採用された。低NO<sub>x</sub>対策として現在もタービンではこの予混合燃焼方式が使われている。環境保全に寄与した世界初の予混合燃焼器の実機が残されており重要である。</p> |  |  |
| 登録基準         | 1 - ロ  |  |  |

|              |  |
|--------------|--|
| 公開・非公開       | 公開   |
| 写 真          |  |
| その他参考となるべき事項 |  |